

令和5年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立日振島小学校

1 自己評価書

教育目標	郷土に誇りと愛着を持ち、進んで未来を生き抜く力を身に付ける日振の子の育成				
基本方針	本校教育の歴史と伝統を継承し、日振島の恵まれた自然や地域のよさを知ること、誇りや愛着を持ち、自ら進んで未来社会を生き抜くための確かな力を身に付ける児童の育成を目指した学校経営を推進する。				
本年度重点目標	1 確かな学力の定着と向上 2 生徒指導の充実 3 働き方改革の推進 4 地域との連携				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	A	A
			・具体的な対策の実施	A	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	B	A
			・教師アンケート	A	
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	A	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	D	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	A	C
・保護者アンケート			D		
・児童生徒アンケート			D		
⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・児童生徒アンケート	A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○前期に引き続き研修主任を中心にeスタ(愛媛新聞電子版)やeライブラリ(学習コンテンツ)、オンライン交流等でICTを積極的に活用して学力の向上に努めた。結果として、県学力診断調査等において県平均や市平均を10点近く上回る結果となっていた。また、トークトレーニングに引き続き取り組んでおり、児童の興味・関心が高い様々なテーマで活動を進めている。その結果、表現方法が少しずつ身に付き、自分なりの表現ができるようになってきている。</p> <p>●読書活動の充実については、スクールバスを待つ時間に読書活動を取り入れたり、児童の興味・関心が高い本を購入したりしたが、評価はあまり上がらなかった。それでも前期よりは評価が良くなった。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・トークトレーニングにおける更なる工夫をしていく。今後は問題意識を持ち、コミュニケーションを構築しないと解決できないような学習場面を設定したり、自分たちで協働して解決するような課題を設定したりして、取り組んでいく。</p> <p>・まだ読んでいない新しい本がたくさんあるので、児童が興味を持てる本などを勧めたり感想を伝える場を設定したりする。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
			・児童生徒アンケート	A	A
			・保護者アンケート	A	
	③ 基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート	B	B
			・児童生徒アンケート	A	
			・保護者アンケート	C	
④ 自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	A	B	
		・児童アンケート	B		
		・教師アンケート	A		
<p>(成果と課題)</p> <p>○生徒指導上の問題はほとんどなかった。課題であった他校との交流も2学期は実施でき、様々な年代と交流することができた。また、音楽会では近隣5校と合唱を行い、達成感も得ることができた。2学期は、様々な行事を通して大きく成長した児童が多かった。</p> <p>●来年度は、全校児童一人となり、その際のコミュニケーションの場をどのように保障していくかが、課題となる。</p> <p>(改善策等)</p> <p>・他校との交流の充実だけでなく、地域の方とのコミュニケーションをトレーニングの場に位置付けるなど、身近に学べる場を大切に、今以上の力が付くよう取り組んでいく。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	A C	B
	②	働きやすい環境づくり 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	B	B
③	他の教職員のサポート体制の充実 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
<p>(成果と課題) ○職員会や研修会がある日のスクールバスの待ち時間を読書活動(自習)に充てることで、時間の有効活用を図ることができた。 ●一人一人の校務分掌が多く、時間外勤務の改善は難しい。</p> <p>(改善策等) ・働き方改革としての取組は頭打ち状態である。今後はやりがいを持って仕事に取り組める状態を作る働きがい改革を推進していく。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	A	A
			・教師アンケート	A	
			・保護者アンケート	A	
・地域アンケート			A		
②	情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
③	来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	A	
		・保護者アンケート	A		
		・地域アンケート	A		
<p>(成果と課題) ○地域学習において、地域の方の協力の下、多くの体験や学びを得ることができた。そしてそれを運動会や文化祭等で保護者や地域の方に披露することができた。 ●来年度は、全校児童1名となる。実施の方法における課題も考えられるので、今後検討していく必要がある。</p> <p>(改善策等) ・地域学習のみならず、ふだんにおいても今以上に地域の方の協力を得て教育活動を行ってきたい。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満